

平成18年度 国土交通省サマージョブ・テーマ等一覧(第2弾)

テーマ	概要	期間	募集人数
これからの住宅政策～誰もが暮らしやすい住まいのために～	<p>戦災復興時以降、低額所得者などの住宅弱者に対する居住面でのセーフティネットとして公営住宅制度をはじめとする公的賃貸住宅制度は大きな役割を果たしてきたところですが、近年DV被害者等の住宅弱者が多様化する中、住宅弱者の居住の安定を確保するためには、公的賃貸住宅のみならず民間賃貸住宅を含む賃貸住宅市場全体で重層かつ柔軟な住宅セーフティネットを構築していくことが求められています。そこで、各種公的賃貸住宅制度の概要やこれらの制度が現在直面している課題等を踏まえ、公的賃貸住宅が今後果たしていくべき役割や必要な制度見直し、民間賃貸住宅との役割分担等について、企画・提案して頂きます。</p>	8/14(月) ～8/18(金)	4～5名
都市再生をめぐる現状と今後の課題	<p>「活力の源泉」である都市の競争力や成長力を一層高めることが強く叫ばれる中、まちづくりにおいても、優良な民間都市開発への支援、民間の資金ノウハウを活用したまちづくりを推進する都市再生施策を推進してきたところですが、慢性的な交通渋滞等のいわゆる「20世紀の負の遺産」の解消、少子高齢化対策や良好な景観の形成など対応が求められている課題は山積しており、これらに対応した今後のあるべき都市再生施策について、企画・提案していただきます。</p>	8/21(月) ～8/25(金)	4～5名
効果的な水害対策による安心・安全な環境整備	<p>河川の治水対策については、これまで連続堤等のハードの整備を中心とした水害対策を実施してきたところですが、昨今の財政状況に鑑みると、十分な治水安全度を確保するには、なお長大な時間を必要としています。しかしながら、昨秋、台風14号によって死者行方不明者29名、家屋被害約3万2千戸という大きな被害が発生するなど、安心して暮らせる環境を整えることが喫緊の課題となっています。そこで、財政再建と安心・安全な生活環境の迅速な確保という矛盾しうる課題をともに解決することができる効果的・効率的な河川行政のあり方について企画・提案していただきます。</p>	8/21(月) ～8/25(金)	4～5名
高速道路の利用はE T C車に限定? E T C普及が目指すもの	<p>高速道路の本来の目的である自動車の高速交通を確保するため、出入り口付近等の渋滞対策としてE T Cシステムを導入し、普及促進策として最近ではE T C割引を導入するなど一層の政策展開がなされているところですが、未だ利用率は6割に満たない状況にあります。高速道路の本来機能を十分に発揮するためには、利用する車両のすべてがE T C車となっていることが望ましいのですが、そのためには今何が必要で、国としてどのように取り組んでいくべきかについて、E T C専用化による効果の検証、E T C専用化の法的論点整理などを行った上で、企画・提案していただきます。</p>	8/28(月) ～8/31(木)	4～5名
新たな金融手法を活用した不動産証券化の推進とまちづくり	<p>不動産の所有と経営を分離する「不動産証券化」手法は、不良債権処理の一手法としてのみならず最近では新たな事業展開・拡大のための資金調達手法としても活用されています。また投資対象がマンションや物流施設から六本木の再開発事業やファミリーレストランまで拡大し、良好な居住環境の実現や都市再生・地域再生にも貢献しています。今回は基礎的な不動産証券化手法を学んで頂いた上でその果たしてきた意義を検証するとともに、不動産証券化商品の情報開示のあり方や投資家保護のあり方など、今後のあるべき不動産証券化市場の姿とその実現のために行政が果たすべき役割について、企画・提案していただきます。</p>	8/28(月) ～8/31(木)	4～5名
“国土交通省”をプロデュース。	<p>国土交通省とはどういうところなのか、また国土交通省で働くとはどういうことなのかを、職場での職員インタビュー等を通じて、仕事の多様さや職場の雰囲気を知ってもらった上で、国土交通省とはどういうところなのかを、どのように対外的に発信していくのかを企画・提言していただきます。</p>	8/28(月) ～8/31(木)	4～5名